

Jordy's Corner

メキシコ料理教室

わたしはテキサス育ちなので、小さな頃からメキシカンフードを食べて育ちました。テキサス南部ではメキシコの食べものや文化がポピュラーです。わたしがこの冬のクリスマスにアメリカへ帰ったときにも、家族とメキシカンフードを食べて来ました。

滝上でメキシコ料理教室ができることになり、わたしはとても興奮しました。だけど、実はわたし、料理はあまり得意じゃありません！紋別の友達、アダムとマリーはわたしよりずっと料理が上手です。アダムは紋別高校の外国语指導助手、マリーはアダムの奥さん。マリーは紋別で週に1回ベリーダンスを教えていて、私もそこに通っています。時々、ベリーダンスの教室の後、彼らの自宅へお呼ばれして、夕食を一緒にすることもあります。日本に来る前彼らは一人ともベジタリアンでしたが、適量のレシピで上手に料理を作ります。

マリーとアダムに料理教室のことを相談したら、彼らは当日のメニューにファヒタス（鶏胸肉のパプリカ炒め）とスペイン風ごはんを選びました。私たちは材料が北海道で手に入るかどうか不安でした。しかし、欲しい材料はすべて北見や紋別で買うことができました。また、おいしいトルティーヤチップスとサルサソースも手に入つてとつてもよかったです！

1月29日（金）の料理教室はとても楽しかつたです。10名の参加者は新しい料理に興味津々で興奮しているようでした。アダムとマリーはみんなに料理の作り方を上手に教えて見せてくれました。最後は食べ過ぎちゃうほど！それから、わたしの一番大好きなアルコールであるテキーラの話を少しして、マルガリータを作つてみんなで飲みました。アダムとマリーは本当に素晴らしい料理の先生なので、またいつか違う料理教室を一人と一緒にできるといいなと思います。



小栗EYE

郷土館管理人小栗さんに収蔵品の紹介や、それらにまつわるエピソードなどを紹介していただきます！

「卒業証書」

三月は卒業の季節です。

滝上の開拓の歴史は明治三十八年、上渚滑原野五十二線に最初の人が入地しました時に始まります。明治三十九年に福島団体七人が滝下の地に入地しました。

滝上の学校の歴史は渚滑第一教育所が上渚滑原野四十線に開設された明治四十一年に始まりました。開拓が始まって三年目です。この学校の建設のため福島団体の人々は、一年分収稻を担保にしてお金を借りたといわれています。教育は昔も今も人々の一番の関心事なのです。

この第二教育所の所属として、明治四十三年滝上北特別教授場、明治四十四年にオシラネット特別教授場が開かれました。開拓が奥地に進むのに従いまして、明治四十五年に上渚滑原野四十七線に移りました。今の滝上地域に移ってきたのです。

大正二年、第四渚滑尋常小学校となり大正七年に滝上村が渚滑村から分村すると、大正八年に滝下尋常小学校と改称しました。昭和二十一年、戦争が終つて滝上町立滝下小学校になりました。そして平成十八年にとうとう休校になり、九十八年の学校の歴史を閉じたのです。十一校もあつた小学校は今では一校だけになりました。これは大正十一年三月の「滝下尋常小学校」の卒業証書です。この方の前に百七人の卒業生がいることが分かります。もう一つは明治四十五年三月の「渚滑第二教育所」一年生の修了証書です。三月は卒業の季節です。卒業は新しい旅立の門出でもあるのです。



↑郷土館に保存されている

「卒業証書」「修了証書」の写真